



令和5年

11月

# 学校だより

NO.6 令和5年10月31日

さいたま市立美園北小学校

TEL 048(812)2277

<https://misonokita-e.saitama-city.ed.jp/>

## 私たち

校長 佐藤 利春

### 自ら学ぶ子ども・おとなを育てるコーチング研修会

令和5年10月6日(金)に、東京ガスケミカル株式会社 取締役常務執行役員 阿久根 謙司 様を講師にお迎えし行いました。阿久根様は、ご自身は野球人として大学日本代表等一流として活躍された方でありながら、FC 東京社長として、J2 降格からわずか1年でJ1へと、コーチングを用いて昇格させたコーチングの第一人者です。6年前よりさいたま市でのコーチング研修を担ってくださっています。当日は全職員参加、また、ご希望40名弱の保護者の皆様もご参加くださいました。内容をYouTube 限定配信し、多くの保護者の皆様にご視聴いただいたところです。

### 参加者の感想より

#### 保護者(抜粋)

- 普段、子どもが困っていると、自分の経験を元にアドバイスをしています。それはクローズドクエスションであることが多かったように思います。子どもに考えさせるオープンクエスションができていなかったなあと思いました。子どもの話に耳を傾けている○ 気持ちに共感している○ 否定しない× 否定していたなあ、と反省でした。
- 帰宅後、子どもの話を黙って傾聴していると表情がよく見れて聞いている方もとても楽しかったです。風の時代と言われていて、自分達が変わっていかないといけないと思っている所です。これからは1人1コーチと言われていくくらいなので、私もまずは我が子達のコーチになれるように、今日の研修を活かしていきたいです。
- 普段からなるべく見守る、押し付けるような言い方はしない、指示ではなく提案をする、ということをご心掛けておりますが、阿久根先生のお話を伺い、より広い心と傾聴・共感・否定せず最後まで聞くことの大切さを知ることができました。研修会から本日3日がたちましたが、意識をして過ごしていますと、普段より親も子も笑顔が増えたように感じます。とても貴重なお時間をありがとうございました。
- 研修を受ける前は、コーチングとはその分野で知識や経験のある人が教える。というイメージでした。選択肢をいくつか提案して、色々な方向から考えられるよっていうアドバイスのようなものではなく、答えを言わない、発見、方法、課題まで全てを自分で考えられるような質問力を身につけて、実践することを言うのだと解釈しました。

#### 職員(抜粋)

- 現状、コーチングをしているよりもティーチングをしていることの方が多いなと感じました。また、結果より過程を褒めることや児童が答えを出すまで待つということはとても勇気がいることだと感じました。ですが、これから傾聴、共感、否定せず最後まで聞くことをポイントにしてコーチングに挑戦していきたいと思えます。
- なかなか、他人に見てもらおうことが難しい内容でもあると思うので、定期的に自己分析しながら進めていく必要を感じました。最後に阿久根さんが相談にのってくれる機会があれば、、、と話されていたので、ぜひ美園北でやっていただきたいです。
- 子供が、やらされるのではなく、自らやりたい意欲をもてるように、まず傾聴すること。励まし伴走するためにも、その土壌には愛が必要であること。大変共感できました。できるならば保護者の方ともチームとなり、未来の子供達のために頑張りたいです。
- 私が目指していた理想の教師像と近いもので、とても前向きな姿勢で聞かせていただきました。一年生の頃から特に自分で考えさせ、行動させたいのですぐにも試してみたいと思えます。
- 親として教員としての自身を振り返る時間となりました。ここ何年かは意識しながら教育活動に携わってきましたので、自身の課題は親としてのコーチングにあると思えます。お話にもありましたが、両親ともに活用することができて初めて効果的なものになると思っています。ぜひ機嫌のよい時にどうにか講演会動画を見てもらい、二人そろって木の上から眺めたいと思います。
- 「子どもが自ら考えて行動するようにするために、大人はどうしたらよいか」というのは、まさに今年度本校で取り組もうとしているテーマなので、大変勉強になりました。だれでもやらされるより、やりたいこと、自分で考えたことの方が、一生懸命にやると思えます。子どもの方が、素晴らしいアイデアやひらめきがあるので、たくさん聞いてみたいです。そのような状況を作り出せるか、ペーシングができているか、が今の私の課題です。

### 美園北小のコーチングこれから

【「自ら考え・行動する」自立した子どもたちが育っていくこと】**私たち**はここを目指しています。保護者・職員双方の感想にもあるように、**私たち**は、子どもをとりまく大人すべてを指しています。保護者の皆様と手を携えながら、コーチングマインドをともにしながら歩んでいけたらと心しています。阿久根様には引き続き本校のコーチングマインドを支えていっていただきます。保護者対象の相談会(後日ご案内します。)に加え、職員に対し定期的(1か月に1回程度)のコーチングをお願いし、個々のブラッシュアップを図ってまいります。「**私たち**一人ひとりの人間性が、日本の未来(子ども)を創造していく」昨年度・本年度と年度初めの職員会議で職員とマインドをともにしたところです。**私たち**は、もちろん保護者・地域の皆様・学校職員です。感想にもあるように、私たち学校職員もまだまだ未熟です。ですから、本気で変わろうと、成長しようと覚悟し進んでいきます。子どもたちのために。皆様とともに。